

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立厳木小学校		
1 前年度 評価結果の概要	<p>・新型コロナウイルスの影響を受けて2年目となった今年度も、活動を制限せざるを得ない場面も多かった。しかし、再年の方向と目標、「こう工夫して行うか」を中期的目標に加え、様々な対策や工夫をしながら子どもたちにとっての「今年しかないこの一年」を実現するものにするために、みんなで知恵を出し合いながら進めてきた。このことは無駄なく効率的に最大の教育効果を目指す新たなスタイルとして確立させることができ、その成果は大いなのとなった。</p> <p>・学校教職員等で動かすのではなく、教職員は旗手となり、いかに自ら先が動かしているように周囲をもたせることで、学校に活気がある。児童の自信に繋がっている。本校はその体制ができており、年末に近づくと、特に5年生が「次は自分たちが学校を動かす番だ」という意識を強くもつ。この活動は今年度も確実に実践でき、伝統となって受け継がれていく。</p> <p>・校内においては、新学習指導要領が施行されて2年目の外国語教育に取り組んだ。今年度は評価を生かした学びと英語活動を進めていく実践について研究を進めた。また、それに付け加えて地域の特色や児童の生活を生かした取組つくりをめざし、教材開発を行った。来年度も引き続き外国語教育の更なる充実を目指し、今年度新たに生まれた課題解決に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>・「学校大好き」「地域大好き」「地域大好き」の児童を目指し、教育活動を行ってきた。来年度も地域と共にある学校、地域の期待に応えられる学校となるよう努めていきたい。</p>		
2 学校教育目標	豊かな心を培い、夢に向かって、主体的・創造的に活動する子どもの育成 ～ふるさとを愛し、人に優しく、一人一人が伸びる学校 厳木小学校～		

3 本年度の重点目標	1 児童の意欲を高め、思考力、表現力、判断力を育む指導の工夫	2 きめ細やかな指導と児童の学習習慣の確立	3 心の教育（一人一人を大切に人権教育）の深化と充実
	4 地域人材の活用と地域での体験活動の推進	5 校内研究・職員研修の充実及び勤務時間を意識した働き方改革の推進	

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・月末にチェックシートを記入し、指導法を振り返るとともに、項目毎に平均点を提示し、平均点が上がる以下の項目は、重点項目として共通理解する。 ・「授業づくりのステップ1-2-3」を踏まえ、全教科半分以上の時間で、話し合う活動と振り返り活動を行う。	・	・	・	・	・	・	学力向上コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできていると答える児童80%以上 ○児童アンケートで「家庭での学習時間(10分×学年+20分)を集中して取り組めた」と答える児童の割合が90%以上 ○道徳や人権教室に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・「授業づくりのステップ1-2-3」を踏まえ、全教科半分以上の時間で、話し合う活動と振り返り活動を行う。 ・月1回のおひさま朝会の実施 ・人権保護委員会による人権教室の実施 ・地域の力と連携した体験活動の実施 ・人権・外国語教育に関する校内研修等の実施 ・OJアンケートを実施し、その結果を基に次の指導を行う。 ・学期に1回の生活アンケートの実施と活用。 ・定期的にもともなアンケートを実施し、実施後の丁寧な調査と指導を行う。結果を全職員で共有し、支援が必要な児童については全職員で対応する。	・	・	・	・	・	・	人権・同和教育 道徳教育推進 教育相談
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ○望ましい生活習慣の形成	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間でも420分以上の児童生徒60%以上 ○家庭で約束したスマートフォン・ゲーム時間の遵守と「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が身に付いた児童80%以上 ○「感染対策を意識した生活ができた」と回答をした児童90%以上	・キャリアパスポートを活用した教育活動についての研修を行い、実践していく。 ・実行委員会形式による学校行事や児童会行事、児童委員会による企画づくりを行い、児童の主体性を重んじた活動に取り組む。 ・体育的行事や縦割り班活動を通して、「運動が大好きな子ども」を育てる。 ・新型コロナウイルス感染に考慮した運動能力向上につながる動きや遊びを授業の中で児童に紹介し、休み時間にも取り組めるような環境を提供する。	・	・	・	・	・	・	保体部 生徒指導部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○職員の心身の健康	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○本校独自に設定したストレスサイン10項目のうち、該当するものが2項目以下の職員80%以上	・授業において児童やスマートフォン・ゲーム時間を守ることの大切さを伝える。 ・生活アンケートを定期的に変更し、規則正しい生活習慣や感染予防の意識を高める。 ・家庭において、週末の生活について呼びかける。 ・毎週定曜日を定時活動日とする。 ・時間外勤務時間調査等をこまめにを行いながら、勤務の適正化がよりよい教育効果に繋がることを伝え、タイムマネジメントの習慣化を図る。 ・定期的にチェックを行う。 ・心身の不調を防ぐために、コミュニケーションを大切にし、ケアの充実を図る。	・	・	・	・	・	・	教務部 教頭 教務部 教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域人材の活用と、地域での体験活動の推進	○積極的に地域人材の活用をし、地域での体験活動の推進する中で育む、ふるさとを愛する心と主体的・創造的に活動できる力	○地域の方々から見た児童の活動に関して肯定的な回答90%以上	・コロナ感染防止対策を徹底した上で、地域からのゲストティーチャーを必要に応じて積極的に招き、体験活動を通じた学びを充実させる。 ・地域の方々へ学習の成果を発表する機会を設け、学びなどについての考えを伝える。	・	・	・	・	・	・	教務部 教頭
○校内研究・職員研修の充実	○研究テーマに沿った研究の充実及び教員の専門性の向上	○外国語教育の進め方に関する専門性が向上した教員90%以上	・外国語教育に関する職員研修を積極的に講師を招聘して行う。 ・評価を生かした学びの充実を柱とした研究の推進を学年節での授業研修などを通して行う。	・	・	・	・	・	・	研究主任・副主任
○特別支援教育の充実	○支援体制の確立と教員の専門性や意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80パーセント以上(アンケートで)	・特別支援に関する研修会の実施(夏休み) ・ケース会議の開催、毎月1回の生徒指導協議会での関心する子についての共通理解 ・外部機関との連携(SC、SSW) ・特別支援教育の情報や資料の提供	・	・	・	・	・	・	特別支援教育

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------